

## 灯火に集まる昆虫

水銀灯や屋外トイレの灯りなどには、ガの仲間や甲虫などの昆虫が集まってきます。これは昆虫が紫外線に誘引されるためで、紫外線を出さないLED照明には集まって来ません。山の中の旅館に泊まったときには、思わぬ昆虫に出会えるかもしれません。



ナシイラガは止まり方が特徴的。幼虫はカキ、ナシ、クリなどを食べる。個体数は多くない。



モンクロシャチホコは特徴ある斑紋で識別が容易。幼虫は黒い毛虫で、サクラなどに大発生する。



セダカシャチホコはシックな色合い。黄色い2点がアクセント。幼虫はクリやクヌギを食べる。



オオシラホシアツバはL字形の白斑が特徴的。成虫は6~9月に発生する。



ウスキツバメエダシャクは5~11月に発生し、日中飛ぶこともある。幼虫はイヌツゲやクヌギを食べる。



オオトモエは開長が10cmもある大型のガ。サルトリイバラを食草として5月と7~8月の年2回発生する。



シリナガカミキリドキは体長15mmほど。腹端が突出するのが特徴。



アミメクサカゲロウはクサカゲロウ類では大型種。触角が非常に長く、翅に斑点がある。



オオホシカメムシは細長いカメムシ。2つの黒紋が特徴。



昆虫が集まるのを期待してニホンアマガエルが屋外トイレのスイッチの上でちゃっかり待っていた。

ナナホシヒメグモは不規則網を張って集まる昆虫を待つ。腹部には艶があり、白斑が特徴的。